1　国語

学校番号	４１７

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３	年次	３
使用教科書	「高等学校　改訂版　標準現代文Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	「入試頻出セレクション　漢字プラス語彙　2040」　（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ

・３年生では卒業後に求められる語彙力・漢字力・文章構成力などの養成をはかります。
・ノートを取るだけではなく、自ら書くこと・発表することなどに重点を置いた授業を行います。
・予習として、難解な漢字や語句などは調べておきましょう。
・復習はその都度本文を通読し、ノートと対応させながら内容を把握しておきましょう。
・提出物がある時は予告しますが、ノートはいつでも提出できるように普段から抜けがないようにしておきましょう。
・副教材に漢字テキストを用意しています。年間の進度計画を初めの授業で示しますから、各自で学習を進めましょう。また定期考査の出題範囲にも含めます。
・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。
・文学作品を通して、国語の表現に対する関心を持ち、その読解によって、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。
・現代社会において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力や書く力を高める。
・生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	自己を見つめる	教材: 「わたしはあなただったかもしれない」	○		○	◎	○	a :他人の立場に立って想像してみることの重要性について、自己の生き方に引きつけて考える。 c , d :随想の読み方を習得する。 d , e :具体例と抽象的な記述との関係を理解する。	a:行動の観察 c:記述の点検 d:記述の確認 e:定期テスト
	自己を見つめる	教材: 「『私』という『自分』」	○	○		◎	◎	a :「自分らしく生きる」ことについての筆者の捉え方を理解し、自己の生き方に引きつけて考える。 b , d :随想の読み方を習得する。 d , e :具体例と抽象的な記述との関係を理解する。	a:行動の観察 b:発表等のパフォーマンスの評価 d:記述の確認 e:定期テスト
	小説を読む（一）	教材: 「デューク」	○	○		◎	○	a , d :現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 d , e それぞれの場面における登場人物の言葉、行動から、その心情を読み取る。 a , e :最後の場面やその後の主人公の心情について考える。	a:行動の観察 b:発表等のパフォーマンスの評価 d:記述の確認 e:定期テスト
2学期	小説を読む（三）	教材: 「こころ」	○	○	○	◎	○	a , c :小説を読んで考えたことを自分の言葉でまとめ、表現しようとする。 b , d :登場人物の性格・心理・行動を読み取り、その変化をつかんでいる。 d , c :他者とのかかわりの中で変化する、「私」の気持ちを理解している。 d , e :小説の舞台となっている明治という時代について理解している。	a:行動の観察 b:発表等のパフォーマンスの評価 c:記述の点検 d:記述の確認 e:定期テスト

	人間と文化	教材: 「コミュニケーションの文化」	○		○	◎	○	a，c：筆者の主張を参考にして、これからの日本人のコミュニケーションについて考えようとしている。 c，d：国や民族によってコミュニケーションの文化に違いが生じる理由を理解する。 d，e：国際化が進む現代社会における日本人のコミュニケーションの問題点について、自らの問題として考える。	a:行動の観察 c:記述の点検 d:記述の確認 e:定期テスト
3学期	小説を読む(二)	教材: 「卒業」	○		○	◎	○	a，c：主人公の心情の変化を捉え、自らの問題として、「仕事」や「友情」、「責任」について考える契機とする。 c，d：作品の主題に迫り、自己の生き方に引きつけて考え、思索を深めている。 d，e：場面ごとの登場人物の心情を的確に読み取っている。	a:行動の観察 c:記述の点検 d:記述の確認 e:定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。